

太宰府中学校 1 学年だより

No.23

R2.11.13 (金)

文責：石橋 眞子

「よのなか」に関心を持とう



今日は後期中間考査でした。手応えはどうでしたか。

学習内容も難しくなってきた中で、50分間大脳をフル回転させて解いたのでさぞ疲れたことでしょう。今日はゆっくり休んでください。

これまで、定期テストを2回受けてきて、中学校のテストの難しさや、ワークを期限までに提出しなければならぬことを経験してきて、皆さんの中で「早めに取りかかる」意識や学習への構えがずいぶん高まってきたように感じます。

例えば、通常試験日の2週間前に配布する試験範囲について、それ以前から「試験範囲はどこですか」ときいたり、試験3日前の「とびうめ学習会」をもう少し早めにしてほしいと頼んだりする声が多く聞かれたそうです。教える側の私たちにとっても、非常に嬉しい声です。

来週は試験が返ってきます。楽しみに(?) 待っててください。

さて、先月末から今月頭にかけて、日本とアメリカで大きな選挙が行われました。

ひとつは、「大阪都構想」選挙。人口270万の大阪市を4~5つの特別区に分割し、東京都のように行政の役割を分担しようとする事業で、大阪府と大阪市の二重行政から起こる問題を解決しようとする試みでした。都構想に賛成するかしないかで、連日多くの意見が報道されていました。

そして、もう一つは、「アメリカ大統領選挙」。これも、世界中の多くの注目を集めるなか、トランプ大統領とバイデン氏の白熱した選挙戦が連日報道されていました。

アメリカ大統領選挙は、日本とシステムが異なり、50の州ごとに投票を行い、結果をもとに選ばれた538人の「選挙人」の数を多く獲得した方が勝者となります。

この機会に、大阪都構想のメリットやデメリット、またアメリカ大統領選挙のシステムをおうちの方から教えてもらった人もいたのではないのでしょうか。

先日、井上先生が社会の授業で「アメリカ大統領選挙」について授業されていたので拝見しました。電子黒板を使って図や動画などを映しながら、わかりやすく説明されており、私も大変勉強になりました。

井上先生をはじめ、いまの中学校の授業は「身の回りや世の中と結びつく」スタイルを大切にしています。それは、学校で学んだことを「自分の生活をよりよくすることや、社会に出たときに役立ててほしいから」です。

たとえば、英語の授業では、先生たちのインタビュー映像を見て、先生を紹介する英作文をつくります。

個人で英作文をつくるだけでなく、友達どうして英作文を評価しあい、訂正したり、ほめたりしながら、よりよい作文をつくりあう活動をしています。

そうすることで、将来、外国に行ったとき、外国の方とコミュニケーションをするときに役立つからです。

この間は、大学生が重広先生の授業を学びに来ており、皆さんの英語力の素晴らしさにとても驚き、感動していたそうです。皆さん、すごいですね。(ビデオに出演した先生方にも感動していたそうです♡)



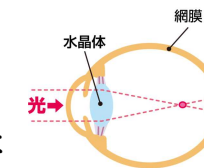
また、理科の授業では、「凸レンズの性質」を学習しています。

写真撮影は、今やデジタルカメラからスマートフォンに変わりつつあります。皆さんが、スマートフォンで自由に写真を撮影することができるのは、凸レンズ(を含めた撮影機能)がついているからです。

また、皆さんの目の中にある凸レンズ(水晶体)は、ものの見え方に重要なはたらきをしており、近視や遠視が起こるのは、凸レンズに入る光の屈折が原因のひとつとなっていることも学習しました。

さらに、保健体育の授業では、持久走を行っています。皆さんにとって、持久走はあまり人気がない競技でしょうが、長い距離を一定のスピードで走る運動は、肺や心臓などの機能を強くし、全身持久力、すなわち健康な体づくりに役に立ちます。

その上、持久走は年齢や性別に関係なく、自分のペースに合わせて気軽に運動できる競技なので、生涯にわたって楽しめるスポーツでもあります。



こう考えてみると、今授業で学んでいることが「自分の今」や「自分の将来」に役立っていることがよくわかったと思います。

試験の点数をあげるなど、目標をたてて勉強を頑張ることはとても素晴らしいことです。一生懸命頑張る皆さんには、それにプラスして勉強する「根本的な意味」に気づき、常に「これはどうしてなんだろう」と考え、「今何が起きているのだろう」と、世の中の出来事に関心を持ってほしいと思っています。

コロナウイルスで、様々な厳しい出来事が続き、ますます先が予測できない不安定な世の中になりましたが、それでも生きていくためには、自分でどうしたらよりよく生活できるのか、自分だけでなく周りの人と仲良く過ごすにはどうしたらいいのか、さらには、今世の中はどんなことが起きているのかを考える知恵が必要とされています。

一昔前なら、図書館に行かないと得られなかった情報は、今やパソコンやスマホを開けば、自分の調べたい情報が瞬時に手に入る時代になりました。

試験が終わってほっとした時間に、あなたが感じている「どうしてなんだろう」「今何が起きているのだろう」を調べてみてはどうですか。

ちなみに、一昨年前ノーベル医学・生理学賞を受賞された本庶佑教授が、子どもの時に最初に疑問を持った「どうしてなんだろう」は、「どうして相撲の土俵(右図)はまるい形になっているのだろうか?」だったそうです。
……どうしてでしょうね。



(円は定幅円形だから)

保護者の皆様

早いもので11月も半分が過ぎようとしており、今年も残すところあと1ヶ月半になりました。寒さも増して、コロナウイルスとインフルエンザの両面での罹患が心配されますが、子どもたちは元気に過ごしております。これもひとえに保護者の皆様のお陰と感謝しております。

近隣の学校では、先月インフルエンザの学級閉鎖も出ており、今後も気をつけなくてはなりません。引き続き、手洗い・マスク・検温の徹底を習慣づけるよう、ご協力をお願いします。

なお、37℃以上の熱が発生した際には、無理されずに学校を休ませてください。

また、病院に向かう際には、必ず電話をしてから来てほしいとのことです。連絡なしに行くと、何時間も待たされるため、さらに悪化する恐れがあるからです。

お互いが気をつけながら、この時期を無事に乗り越えていけますよう、願っております。